

序章 文化財マスタープラン策定の趣旨

(1) マスタープラン策定の背景と目的

京丹後市は日本海に面し、豊かな自然と深い緑に包まれた山々に囲まれ、京阪神地方を代表する自然型の観光・レクリエーションの地として広く知られている。また、京丹後市をとりまく自然環境、とりわけ地理的環境は京丹後市の歴史と文化を育む下地になったとも考えられている。

古く縄文時代よりこの地に暮らす人々は日本海へと漕ぎ出して漁を行い、弥生時代には朝鮮半島や中国大陸と交流をもっていたといわれている。古墳時代には日本海交易ルート的一大基地として、大和政権の中にあつて重要な地位を占めていたと考えられている。そのことを示すかのように、京丹後市には強大な権力を持った支配者の墓と考えられる網野銚子山古墳や神明山古墳などの巨大な古墳が今も往時の姿を良好な状態でとどめている。それだけでなく、大規模な環濠集落である扇谷遺跡、途中ヶ丘遺跡や玉づくりのムラである奈具岡遺跡、巨大で整美な赤坂今井墳丘墓などの存在は、強大な権力を支えた技術、生産力、流通、そして組織の存在を示していると考えられており、近年古代の丹後地方に有力な地域的まとまりが存在したと言われる根拠の一つともなっている。

このように京丹後市は豊かな自然だけでなく、自然環境、地理的環境との深い関係によって形づくられた、優れた歴史と文化を有している。これらの自然および歴史的文化遺産を後世へと望ましい形で守り伝えていくことは京丹後市に課せられた未来への責務といっても過言ではない。それだけでなく、歴史的文化遺産は地域の歴史的文化的財産とも捉えられ、京丹後市の新しいまちづくりの重要なキーワードの一つに挙げられている。近年全国で文化財をまちづくりの重要な財産の一つと捉え、その整備や活用によって地域の個性を表現したまちづくりを展開しようという動きが多く見られるようになった。そのような状況の中で、全国の他地域と比しても優れた文化財が多数所在する京丹後市が文化財の保存と整備、活用の方向性を定めることは、ごく自然な流れであり、重要な課題でもある。しかし、現状としては多くの文化財の活用がほとんど手をつけられていない状態であり、有効な活用が望まれている状況である。

京丹後市文化財マスタープランはこのような現状に鑑み、京丹後市の誇るべき歴史を掘り起こし、京丹後市の歴史と文化を未来へと伝えていくために文化財の総合的な保存と活用を図り、ひいては京丹後市のまちづくりに活かされていくことを期待しつつ、文化財整備のための方針を打ち出すものである。

(2) マスタープランの性格と目標

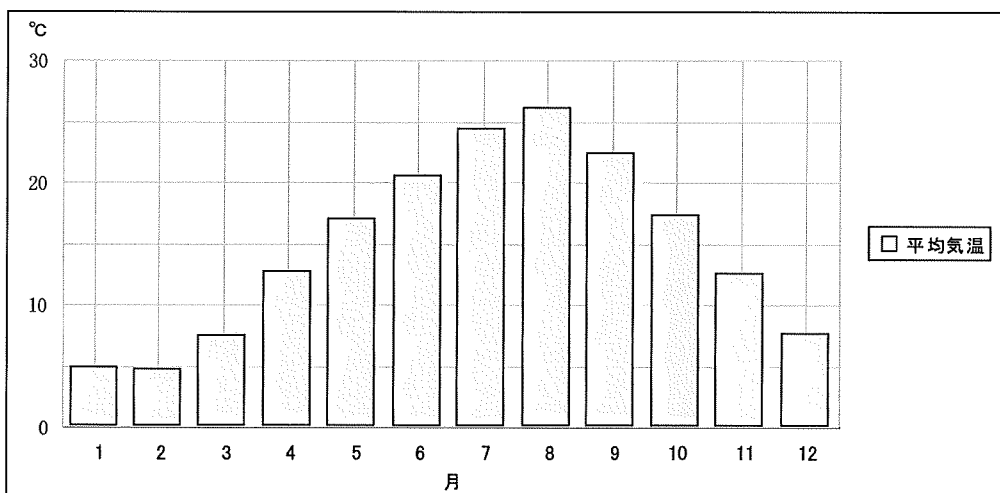
京丹後市文化財マスタープランは、京丹後市内に所在する有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群など多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して保存並びに活用整備を進めるための方向性を示すものである。

第1章 京丹後市の文化財をとりまく環境

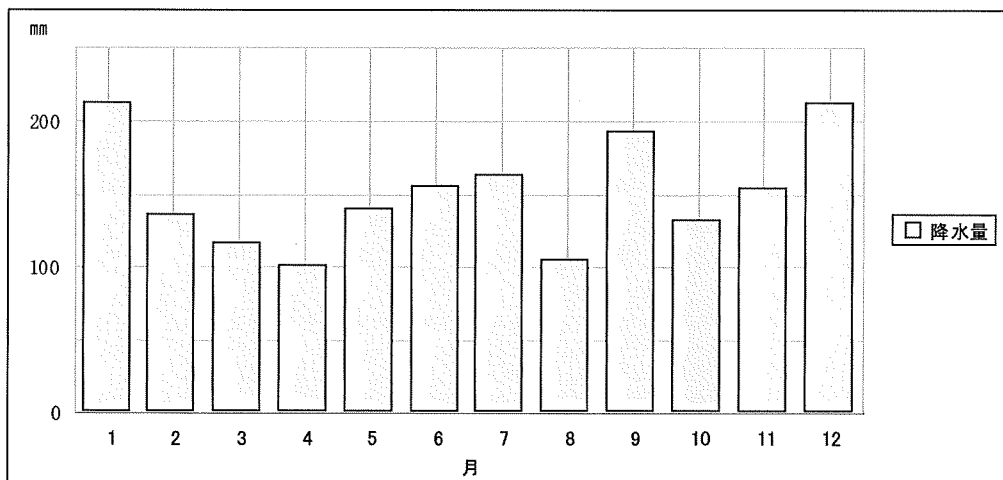
(1) 自然環境

① 気候

京丹後市の気候は日本海型気候に属し、夏季はフェーン現象により気温の高い日が続き、晩秋から冬にかけてはこの地域特有の「浦西（うらにし）」といわれる北西または西よりの季節風とそれに伴う時雨現象があり、不安定な気候となる。冬季には平野部でも50cm、山間部では1mを越す積雪がみられることもある。



平均気温（データは間人アメダスの平年値による）



降水量（データは間人アメダスの平年値による）

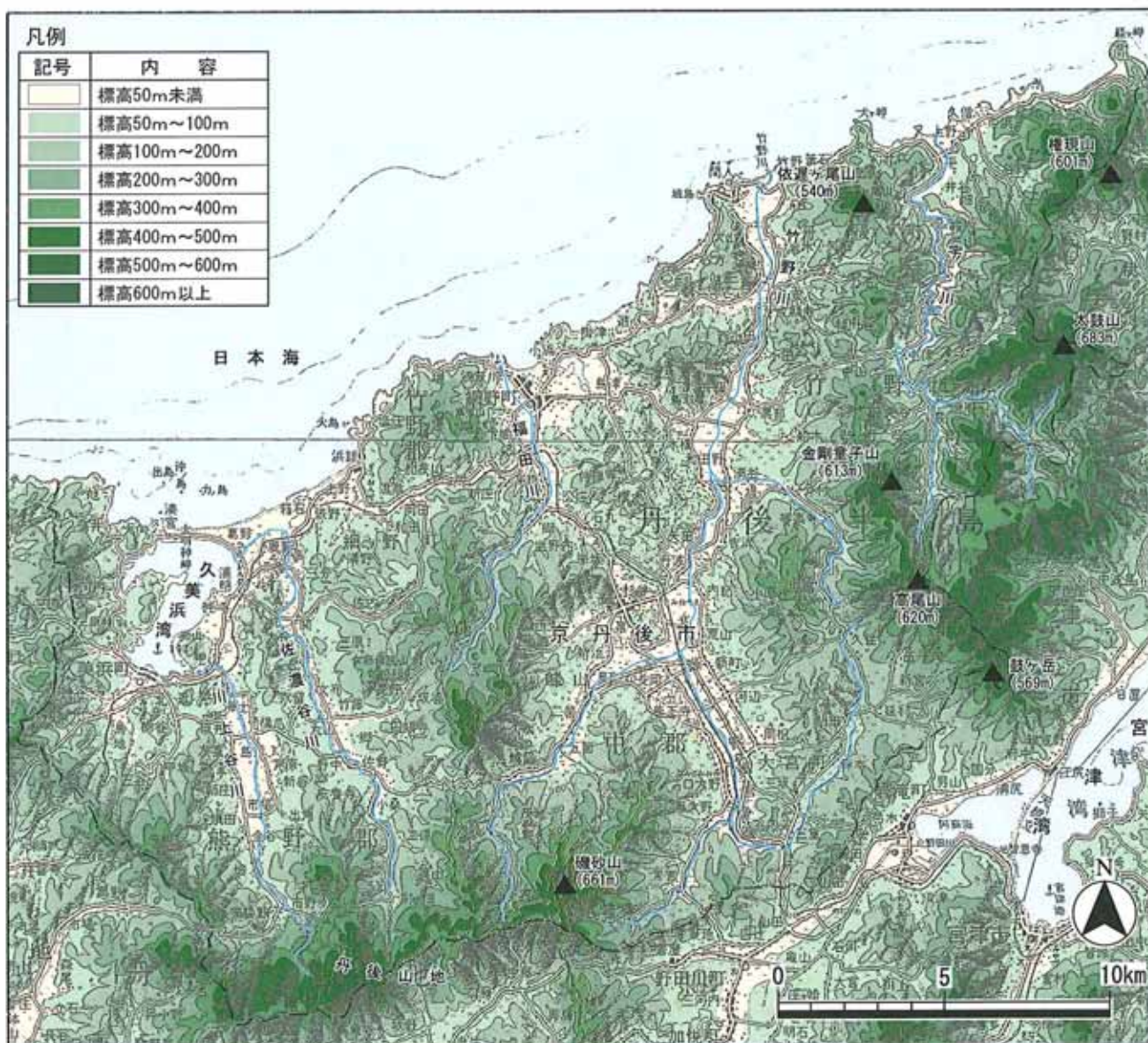
② 植生

京都府の植物の分布区分は暖帯の北部となっており、京丹後市もこれに属する。山間部は概ねアカマツやスギ、ヒノキ、ブナといった樹木がみられる。特に、五十河の集落から北東に約3.5km、標高約600m以上にある内山ブナ林は、広さ約40haに及び、300種以上の植物が自生している。幹周が3.5m以上にもなる府下最大のブナの巨木をはじめ、多種類の動植物が生息することから、学術的にも貴重である。一方、日本海沿岸部は北方系と南方系の植生が混在する特異な状況を示しており、暖帯性海浜植物のタブやネズミモチ、トベラ、カクレミノなどが自生しているところもある。多様な植生がみられる。

京丹後市の森林面積は約37,600ha（京都府林業統計：平成12年度）にのぼり、京丹後市全体の約75%にあたる。

③ 地形・水系

京丹後市は、京都府の北西部、京都市から直線距離で約90kmに位置し、東西に約35km、南北に約30km、面積501.84km²の広がりをもっている。日本海に向かって伸びる丹後半島北岸を占め、その西側には長大な砂嘴をもつ久美浜湾がある。市域の東端から南端にかけては、市境界に沿うように東から権現山（標高601m）、太鼓山（683m）、依遅ヶ尾山（540m）、金剛童子山（613m）、高尾山（620m）、鼓ヶ岳（569m）、磯砂山（661m）など標高600m級の丹後山地が連なっている。それらの山々を源とする河川が日本海に注いでいる。大宮町の高尾山、内山を源とし、弥栄町を通り丹後町へと至る竹野川、網野町を縦貫する福田川、久美浜町を縦貫して久美浜湾へ注ぐ佐濃谷川と川上谷川、弥栄町から丹後町を流れる宇川がその代表であり、これらの河川の流域に平地が形成されている。また、複雑に入り組んだ海岸線は良好な湾や入江（潟）に恵まれている。丹後半島の海岸線は網野町を境に東側は若狭湾国定公園、西側は山陰海岸国立公園に指定されている。



地勢・水系図

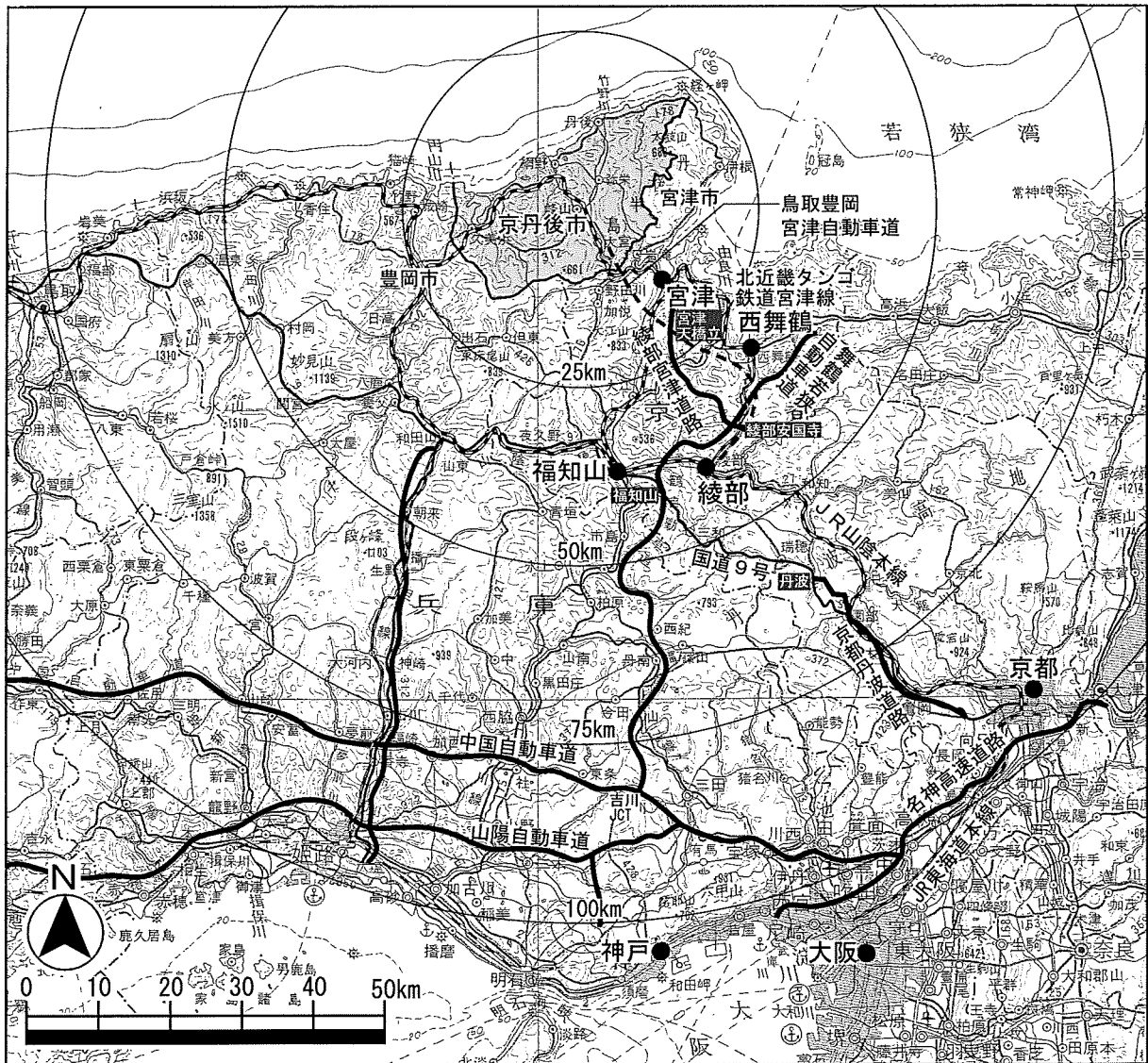
(2) 社会環境

① 道路交通

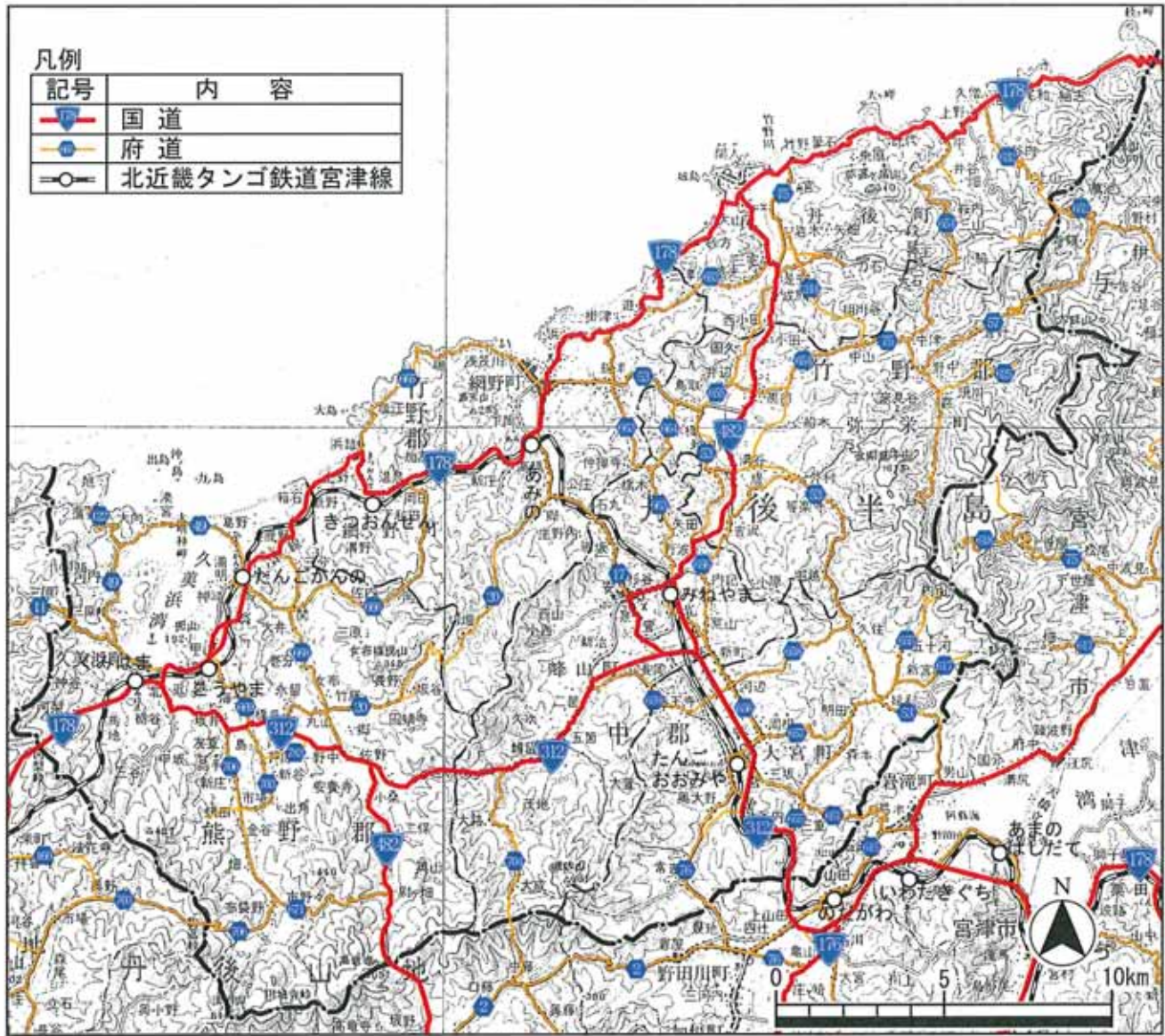
京丹後市は、大阪、京都、神戸等の都市部から概ね100km圏内にあり、京阪神とを結ぶ京都縦貫自動車道(久御山町～宮津市)は綾部～宮津間と京都丹波～京都間で近年供用が開始されている。また日本海側を鳥取まで結ぶ鳥取豊岡宮津自動車道では、宮津～野田川間の工事が進められており、野田川～大宮森本までは整備区間に格上げされ、平成18年の事業化に向け準備が進められている。

京丹後市内の主要道路は、海岸沿いを東西に走る国道178号と竹野川沿いに間人から峰山へと至る国道482号、山間部を東西に横切って野田川方面から峰山と久美浜を結ぶ国道312号があり、これらにアクセスする網の目状の府道や主要地方道が各集落を結んでいる。

鉄軌道は北近畿タンゴ鉄道宮津線が東西を横断し、舞鶴市から大宮、峰山、網野、久美浜を経て兵庫県豊岡市へと至っている。



広域道路交通網図



市域道路交通網図

② 観光レクリエーション・公園緑地

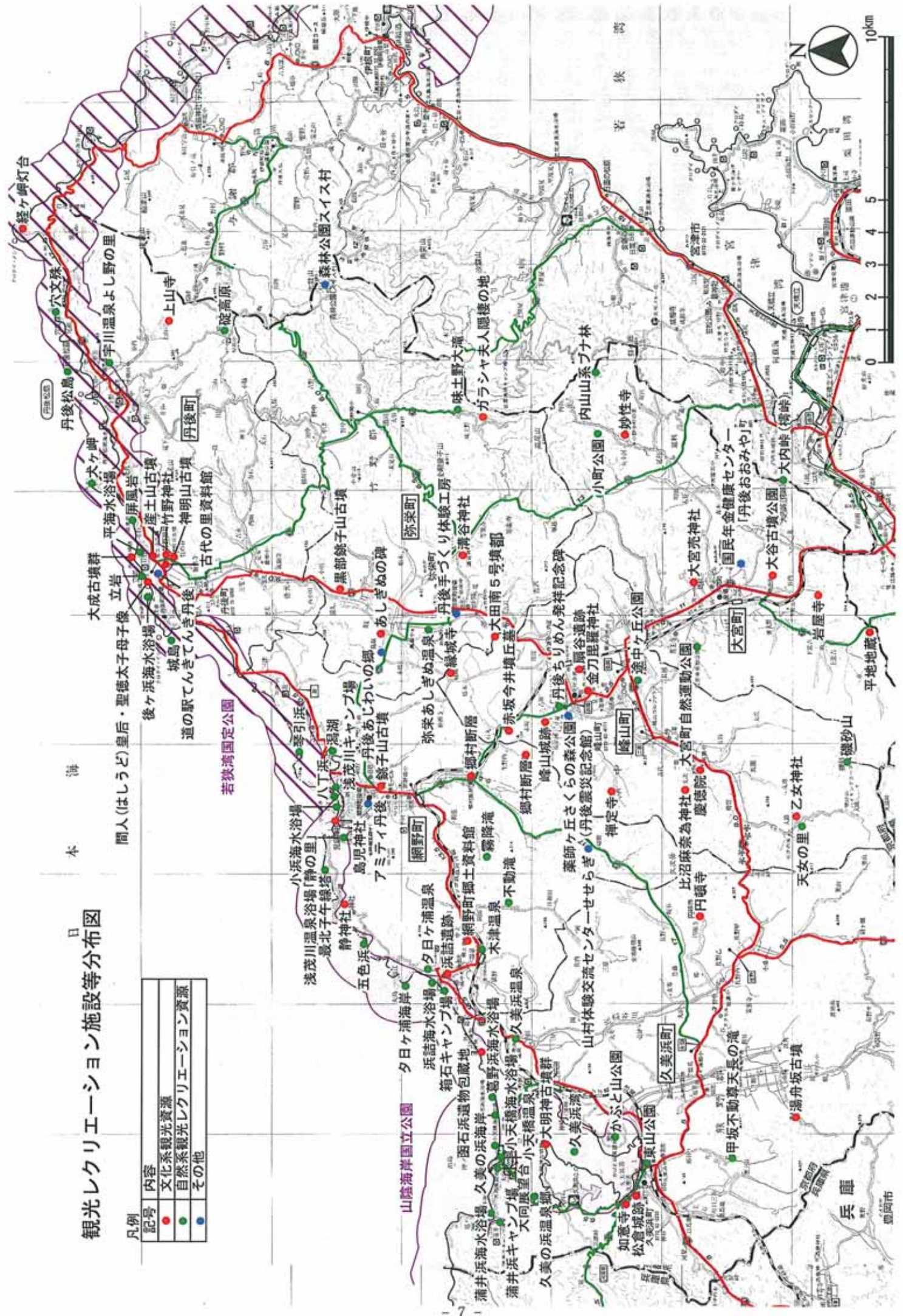
京丹後市は山陰海岸国立公園、若狭湾国定公園に指定された風光明媚な日本海に面し、赤坂今井墳丘墓に代表される古代遺跡に見るように長い歴史をもつことから、これら豊かな自然資源や歴史的文化遺産を活かした多くの観光・レクリエーション資源がある。主たる資源は以下の通りである。

町	文化系観光資源	自然系観光レクリエーション資源	その他
丹後町	<ul style="list-style-type: none"> 産土山古墳 神明山古墳 片山古墳 大成古墳群 高山12号墳 上山寺 竹野神社 丹後古代の里資料館 間人(はしうど)皇后・聖徳太子母子像 経ヶ岬灯台 穴文殊 	<ul style="list-style-type: none"> 城島 立岩 屏風岩 丹後松島 犬ヶ岬 宇川温泉よし野の里 碓高原 後ヶ浜海水浴場 平海水浴場 高嶋海水浴場 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅てんきてんき丹後
網野町	<ul style="list-style-type: none"> 銚子山古墳 復元岡1号墳 離湖古墳 郷村断層 浜詰遺跡 網野郷土資料館 琴引浜鳴き砂文化館 島児神社 静神社 	<ul style="list-style-type: none"> 五色浜 琴引浜 八丁浜 夕日ヶ浦海岸 最北子午線塔 浅茂川温泉浴場「静の里」 夕日ヶ浦温泉 木津温泉 離湖 小浜海水浴場 浜詰海水浴場 箱石キャンプ場 浅茂川キャンプ場 不動滝 霧降滝 	<ul style="list-style-type: none"> 山村体験交流センター せせらぎ アミティ丹後
久美浜町	<ul style="list-style-type: none"> 函石浜遺物包蔵地 円頓寺 如意寺 湯舟坂2号墳 大明神古墳群 松倉城跡 本願寺 甲坂不動尊天長の滝 	<ul style="list-style-type: none"> 久美の浜海岸 久美浜湾 小天橋温泉 久美浜温泉 久美の浜温泉郷 葛野浜海水浴場 小天橋海水浴場 蒲井浜海水浴場 大向展望台 かぶと山公園 東山公園 蒲井浜キャンプ場 	<ul style="list-style-type: none"> 山陰海岸国立公園
弥栄町	<ul style="list-style-type: none"> 黒部銚子山古墳 あしぎぬの碑 ガラシャ夫人隠棲の地 溝谷神社 大田南5号墳 奈具岡遺跡 遠慮遺跡群鍛冶工房跡 	<ul style="list-style-type: none"> 弥栄あしぎぬ温泉 味土野大滝 	<ul style="list-style-type: none"> 丹後あじわいの郷 丹後手づくり体験工房 森林公園スイス村
峰山町	<ul style="list-style-type: none"> 赤坂今井墳丘墓 縁城寺 禅定寺 峰山城跡 金刀比羅神社 比沼麻奈為神社 慶徳院 乙女神社 大田南5号墳 湧田山古墳群 扇谷遺跡 	<ul style="list-style-type: none"> 途中ヶ丘公園 天女の里 磯砂山 丹後ちりめん発祥記念碑 	<ul style="list-style-type: none"> 薬師ヶ丘さくらの森公園(丹後震災記念館)
大宮町	<ul style="list-style-type: none"> 大宮賣神社 大谷古墳公園 新戸古墳 岩屋寺 平地地蔵 妙性寺 	<ul style="list-style-type: none"> 大宮町自然運動公園 内山山系ブナ林 大内峠(樽峠) 	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金健康センター「丹後おおみや」(おおみや小町温泉、大宮ふれあい工房) 小町公園

観光レクリエーション施設等分布図

凡例

記号	内容
●	文化系観光資源
●	自然系観光レクリエーション資源
●	その他



日本海

若狭湾

兵庫

姫岡市

間人(はしうど)皇后・聖徳太子母子像

丹後町

大成古墳群

立岩

丹後市

大宮町

大宮町

大宮町

大宮町

宇川温泉よし野の里

上山寺

屏風岩

産土山古墳

竹野神社

神明山古墳

古代の里資料館

丹後市

丹後市

丹後松島

穴文殊

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

丹後市

京丹後市イベントカレンダー

開催日		イベント名	地域	開催場所
4月	9～10日	金刀比羅神社春祭	峰山	金刀比羅神社
	中旬	京丹後ちりめん祭	網野	アミティ丹後周辺
	下旬	ウエスタンリーグ公式戦	峰山	峰山球場(峰山総合公園)
	28日	お不動さん	大宮	岩屋寺
5月	3日	久美浜交流まつり	久美浜	浜公園、かぶと山公園
	5日	市野々の菖蒲田植	久美浜	天満神社
	下旬	新緑ブナ林観察会	大宮	内山ブナ林
6月	上旬	はだしのコンサート	網野	琴引浜
	下旬	あみのふれあいコンサート	網野	アミティ丹後
7月	9～10日	金刀比羅神社夏祭	峰山	金刀比羅神社
	中旬	小浜離山弁天まつり	網野	離湖周辺
		やさか納涼祭(花火大会)	弥栄	水辺公園やさか野
	25日	間人みなと祭	丹後	間人港周辺
	30日	水無月祭(花火大会)	網野	浅茂川海水浴場周辺
	下旬	小西川ふれあいまつり	峰山	小西川沿い
	下旬～2月均	網野スポーツ祭	網野	網野町内
8月	7日	フェスタ「飛天」in京丹後	峰山	峰山総合運動公園
		京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会		
	9日	千日会観光祭	久美浜	一区商店街・浜公園内
	13日	京丹後市大宮映画祭	大宮	アグリセンター大宮及び 大宮庁舎前駐車場
	上旬	納涼フェスティバル七夕まつり	大宮	大宮橋付近、竹野川堤防
	14日	竹野川水系万灯	大宮	竹野川水系沿い
	15日	浜詰夕日ヶ浦納涼花火大会	網野	浜詰海水浴場周辺
	16日	風蘭の里まつり		蒲井浜海水浴場・風蘭の館
	23日	河梨の十二灯	久美浜	河梨地区
28日	いかり高原まつり	丹後	碓高原	
9月	第1日曜日	市民総合体育大会	全域	市内各所
	24日	小町ろまん全国短歌大会	丹後	京都府丹後文化会館
	18日	パンプキンフェスティバル	大宮	常吉村営百貨店
		歴史街道丹後100kmウルトラマラソン	市内	
	中旬	敬老会	各地	
		丹後あじわいの郷秋の大収穫祭	弥栄	丹後あじわいの郷
～10月	青少年芸術シアター	大宮	大宮第一小学校	
10月	2日	あみの八丁浜ロードレース大会	網野	八丁浜周辺
	第2土曜日	甲坂の三番叟	久美浜	山本神社
		栃谷の三番叟	久美浜	深谷神社
		神谷太刀宮祭	久美浜	神谷神社及び久美浜一区
	第2日曜日	野中の田楽	大宮	大宮神社
		黒部の踊子	弥栄	深田部神社
		丹波の芝むくり	丹波	丹波地区内
		五箇の三番叟	峰山	愛宕神社
		周枳の三番叟、笹ばやし、神楽	大宮	大宮賣神社
		竹野のテンキテンキ	丹後	竹野地区内
		遠下のちいらい踊	丹後	依遅神社
		大山の刀踊	丹後	志布比神社
	布袋野の三番叟	久美浜	河上三神社	

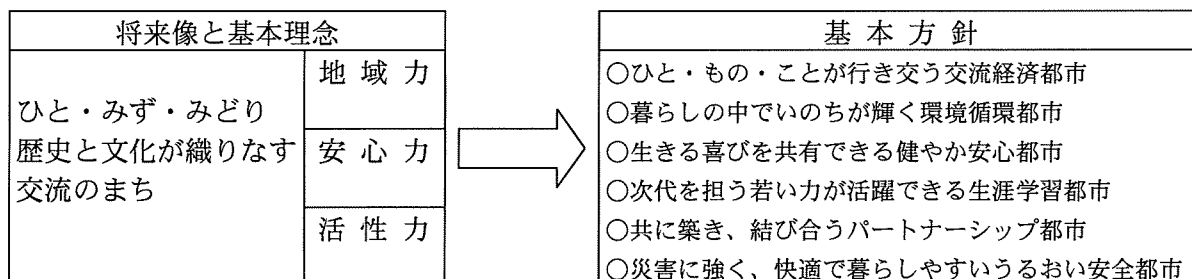
	開催日	イベント名	地域	開催場所
10月	15～16日	京丹後文化のまちづくり推進事業	丹後	京都府丹後文化会館
	中旬	ブナからの恵みシンポジウム	丹後	上世屋・内山ブナ林
		ふるさと登山交流大会		高龍ヶ岳
		きもの祭		丹後あじわいの郷
		氏神祭(秋祭)	大宮	大宮賣神社
		秋祭り	網野	町内
			丹後	町内各地区
			峰山	町内各地区神社
	果実祭	久美浜	久美浜温泉駐車場	
	9～10日	金刀比羅神社秋祭	峰山	金刀比羅神社
22～23日を中心に1週間	きものサミット		京都府丹後文化会館・アミティ丹後・丹後あじわいの郷	
30日	ふる里ジャンジャン祭	網野	網野多目的グラウンド・網野体育センター	
11月	第1週～第2週の日曜日	峰山健幸フェスタ21	峰山	峰山総合福祉センター
		大宮いきいきフェスタ健康福祉展		アグリセンター周辺
		網野 健康展	網野	網野健康福祉センター、保険センター
		久美浜 健康づくり展	久美浜	浜公園
	上旬	アグリフェスタ弥栄	弥栄	弥栄庁舎前周辺
		大宮町産業文化祭(生き生きフェスタ)	大宮	京丹後市大宮庁舎前
		紅葉のブナ林観察会	大宮	内山ブナ林
	5～6日	峰山産業まつり	峰山	市役所前広場ほか
	12日～13日	久美浜まるかじりまつり	久美浜	浜公園周辺
	13日	弥栄町秋の祭典	弥栄	弥栄病院裏駐車場周辺
	第3日曜日	てんきてんき村産業まつり	丹後	道の駅てんきてんき丹後周辺
		小・中学校音楽フェスティバル	丹後	京都府丹後文化会館
	23日	久見浜湾一周駅伝競走大会	久美浜	久見浜湾周辺
	12月	4日	京丹後文化のまちづくり推進事業	丹後
第1日曜日		カキ・魚まつり	久美浜	マリンプラザ前
24～1月3日		久美ナリエ	久美浜	かぶと山
1月	1日	金刀比羅神社初詣	峰山	金刀比羅神社
	中旬	スイス村スキー場開き	弥栄	スイス村スキー場
2月	上旬	百度打ち	丹後	間人
	中旬	スイス村スキー場祭り	弥栄	スイス村スキー場
3月	上旬	カニの町「丹後町」観音ゲートボール大会	丹後	豊栄山村広場
		丹後震災記念展	峰山	峰山地域公民館
	下旬	成人式	丹後	京都府丹後文化会館
		斎宮初午祭	丹後	竹野神社

③ 京丹後市総合計画との関連

ここでは京丹後市総合計画のうち、京丹後市の文化財整備等に係るものを整理しておく。

<第1次京丹後市総合計画>平成17年12月作成

21世紀の新たな都市像を目指し、市民・地域・行政が一体となって魅力ある京丹後づくりに取り組む指針として、京丹後市の将来像を実現するための基本方針を体系的に整理する。将来都市像はおおむね10年間として設定。



これら6つの基本方針に基づき重点プロジェクト構想が作られている。文化財に関連するものとしては、次のものがある。

<p>《学びのミュージアム推進プロジェクト構想》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市域全体を「学び」のミュージアムと位置づける ・丹後の歴史文化、ものづくりの伝統や技術など京丹後市の魅力の発信 ・将来の京丹後市を担う人材の育成を図る ・丹後王国の歴史に学び、未来にわたる交流活力のまちづくりに活かす「丹後学」を推進



<次代を担う若い力が活躍できる生涯学習都市>

歴史文化遺産の保全と活用

○目指す目標－情報発信の力を高める

丹後王国観光情報館（仮称）の整備	目標1ヶ所
文化財博士登録制度の設置・登録者数	目標100人

○施策方針

- 1 歴史資料館のネットワーク…資料館の特徴化、情報ネットワークの構築、案内資料の統一化
- 2 丹後王国の歴史文化の保存・発信…情報発信の拠点施設整備、市民参加の受入体制づくり
- 3 文化財の保存と活用…文化財収蔵施設整備、指導・調査体制の整備、情報提供・市民活動と連携による*「丹後学」の振興

その他、関連する項目として次のものがある。

<ひと・もの・ことが行きかう交流経済都市>

観光の振興

○施策方針

- 2 歴史文化の保全と活用…歴史文化の保全と周辺環境整備
- 3 観光資源のネットワーク…自然・歴史文化・産業の体系化を図り観光振興につなげる
- 7 情報発信の強化…歴史・ちりめんなど地域文化の魅力あるイメージ作りと情報発信

※「丹後学」－独自の経済文化圏を形成していた丹後王国の歴史に学びながら、この風土に培われた地域資源を見直し、活用することによって地域力を高める地域学。

(3) 京丹後市の歴史とその特質

京丹後市は、日本海に突き出た丹後半島の大半を占める行政圏である。丹後半島は、日本海をはさんで中国大陸と面するという地勢的条件を活かし、古くから海を介した交流が行われていた。

縄文時代には、「平式土器」で知られる平遺跡や浜詰遺跡など海岸沿いの遺跡や、裏陰遺跡など内陸の遺跡が見られる。

弥生時代には、中国大陸との密接な交流を示す遺跡が出現する。中国源流の土笛「陶埴」を出土した途中ヶ丘遺跡・扇谷遺跡は、弥生時代前期における交流を示すものと思われる。また、海を望む砂州に立地する函石浜遺跡からは中国「新」の貨幣である「貨泉」が出土している。弥生時代中期の奈具岡遺跡からは大規模な玉作り工房が発見され、鉄製の工具を使用し水晶や緑色凝灰岩の玉作りが盛んに行われていた。弥生時代後期の国内最大級の墳丘墓・赤坂今井墳丘墓からは、中国製管玉を使用した豪華な頭飾りが出土しており、この時期に交易を基盤とした有力な勢力が存在したと考えられる。

古墳時代には、魏の年号である「青龍三年」を銘した方格規矩四神鏡が出土した大田南5号墳が目玉を引く。画文帯神獸鏡が出土した2号墳と共に、邪馬台国の時期の中国との交流を伺わせる。中期初頭には、日本海沿岸で最大級の前方後円墳である網野銚子山古墳・神明山古墳が見られ、潟湖を望む立地から見て、海を介した交易を基盤とした有力な勢力の存在が推定できる。市内には、両古墳を頂点とする5000基以上の古墳が築造され、府下有数の古墳密集地としても知られる。文献史料からも、農耕・造酒技術の伝来を思わせる羽衣伝説や開化・垂仁天皇との婚姻関係の伝説が見られ、大和政権とのつながりをもった有力者の存在が浮かび上がる。その一方、奈具岡北1号墳出土の陶質土器や新羅大明神を祀る溝谷神社などからは、朝鮮半島からの文化流入の様子も伺える。

奈良時代の和銅6(713)年には、丹波国から5郡を分け丹後国が成立し、現在の「丹後」という地域名が始まる。この時期の国府や国分寺は、天橋立を望む府中地域(現在の宮津市府中)に置かれた。平安時代前期にかけては、渤海使漂着の記録が残るなど日本海側に面した立地の特色を残すが、前代までのような対外的な交流は影をひそめる。

平安時代後期以降の丹後地域は、京都に近いという立地から、京都の寺社荘園等が広く展開した。現在、国・府・市の指定文化財となっている仏像・絵画などの美術工芸品は、作風から見て京都とのつながりをうかがわせるものである。

室町時代には、幕府四職家の一つ一色氏が丹後守護となり、戦国期以降は丹後府中に在国する。天文7(1538)年の『丹後国御檀家帳』には、久美の湊に「家五百軒」と記されており、日本海沿岸地域との交流の拠点として湊が展開した可能性が考えられる。

戦国末期には、細川氏が丹後へ入り、宮津・田辺・加悦のほか峯山・久美浜に城下町が建設された。

江戸時代に入ると、丹後国は宮津・峯山・田辺の三藩に分割された。市域は、峯山・宮津藩の所領となり、峯山には陣屋や城下町が建設された。江戸時代中期には、峯山・宮津藩領と天領となり、天領支配のため代官所が久美浜に置かれた。峯山町の絹屋佐平治は丹後ちりめんを織り出し、京都西陣とのつながりの中で現在まで続く地場産業として丹後一円に広がった。日本海沿岸部では、北前船など廻船業が発達し、特色のある発展を続けてきた。

明治維新後の廃藩置県により、市域は峯山・宮津・久美浜県とされ、明治4(1872)年に統合されて豊岡県となったが、明治8(1876)年に京都府へ分割編入された。

その後、昭和2(1927)年に郷村断層が引き起こした北丹後地震により、峰山・網野地域を中心に甚大な被害をもたらしたが、丹後ちりめんの盛況を背景にいち早く復興を果たしている。

明治・大正・昭和の町村合併を経て6つの町として発展してきた後、『平成の合併』における京都府最初の市として平成16年4月1日に京丹後市は誕生した。



奈具岡遺跡出土遺物（玉製品・未製品）



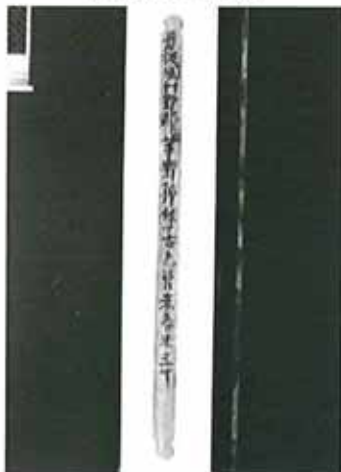
赤坂今井墳丘墓玉飾り出土状況



網野銚子山古墳



奈具岡北1号墳出土陶質土器



「丹後國」の記載が見られる木簡



大宮賣神社所在石燈籠（徳治二年(1307)）



現代の京丹後市市街

(4) 京丹後市の文化財

京丹後市で現在指定や登録がなされている文化財は大変多く、全部で160件にのぼる。その内訳は国指定13件、国登録5件、府指定33件、府登録18件、市指定が91件となっている。これら指定文化財等を以下に一覧としてまとめる。

指定等文化財一覧

<国指定等文化財>

名称	種別	指定年月日	所在地	町名
縁城寺宝篋印塔（石造）	国 建造	昭和30年2月2日	縁城寺	峰山町
本願寺本堂	国 建造	明治37年2月18日	本願寺	久美浜町
木造千手観音立像	国 彫刻	昭和16年11月6日	縁城寺	峰山町
木造薬師如来及両脇侍像	国 彫刻	昭和16年11月6日	円頓寺	久美浜町
石燈籠 2基	国 工芸	昭和37年2月2日	大宮賣神社	大宮町
方格規矩四神鏡 附 鉄刀 土師器残欠	国 考古	平成8年6月27日	丹後郷土資料館寄託	峰山町・弥栄町
丹後湯舟坂二号墳出土品	国 考古	昭和58年6月6日	丹後郷土資料館寄託	久美浜町
旧口大野村役場庁舎	国 登録	平成11年7月8日		大宮町
稲葉家住宅主屋・長屋門・南宝蔵・北宝蔵	国 登録	平成15年1月31日		久美浜町
銚子山古墳 第一、二古墳	国 史跡	大正11年3月8日		網野町
神明山古墳	国 史跡	大正12年3月7日	竹野神社	丹後町
産土山古墳	国 史跡	昭和32年7月1日	三柱神社	丹後町
函石浜遺物包含地	国 史跡	大正10年3月3日		久美浜町
郷村断層	国 天然	昭和4年12月17日		網野町

<府指定等文化財>

名称	種別	指定年月日	所在地	町名
神谷神社本殿	府 指建	昭和60年5月15日	神谷神社	久美浜町
参考館（旧久美浜県庁舎御玄関棟）	府 指建	昭和60年5月15日	神谷神社	久美浜町
売布神社本殿	府 指建	平成15年3月14日	売布神社	網野町
丹後震災記念館	府 指建	平成17年3月18日		峰山町
日吉神社本殿	府 登建	平成5年4月9日	日吉神社	網野町
	市 建造	平成16年2月13日	日吉神社	網野町
竹野神社本殿、末社齋宮神社本殿、中門	府 登建	昭和60年5月15日	竹野神社	丹後町
興法寺本堂	府 登建	平成13年3月23日	興法寺	弥栄町
神谷神社神門、境内社八幡神社本殿、鳥居	府 登建	昭和60年5月15日	神谷神社	久美浜町
多久神社	府 登建	平成16年3月19日	多久神社	峰山町
絹本著色当麻曼荼羅図	府 指絵	昭和58年4月15日	本願寺	久美浜町
絹本著色松井康之像	府 指絵	昭和63年4月15日	宗雲寺	久美浜町
絹本著色松井与八郎像	府 指絵	昭和63年4月15日	宝泉寺	久美浜町
絹本著色釈迦十六善神像	府 登絵	昭和58年4月15日	岩屋寺	大宮町
絹本著色地藏菩薩像	府 登絵	昭和58年4月15日	岩屋寺	大宮町
絹本著色五大尊像	府 登絵	昭和58年4月15日	岩屋寺	大宮町
絹本著色毘沙門天像	府 登絵	昭和58年4月15日	岩屋寺	大宮町
方丈障壁画	府 登絵	昭和58年4月15日	慶徳院	峰山町
紙本著色斎明神縁起	府 登絵	平成3年4月19日	竹野神社	丹後町
紙本著色等楽寺縁起	府 登絵	平成3年4月19日	竹野神社	丹後町
木造薬師如来及両脇侍像	府 指彫	昭和59年4月14日	成願寺	丹後町
木造阿弥陀如来立像	府 指彫	平成6年2月18日	本願寺	久美浜町
金銅装笈 附 金銅装笈残闕	府 指工	昭和59年4月14日	縁城寺	峰山町
熊野十二社権現懸仏	府 指工	昭和58年4月15日	円頓寺	久美浜町
木造扁額	府 指工	平成4年4月14日	如意寺	久美浜町
石灯籠	府 指工	平成13年3月23日	溝谷神社	弥栄町
円頓寺惣門再興勸進状	府 指文	平成3年4月19日	円頓寺	久美浜町
本願寺文書	府 登文	平成5年4月9日	本願寺	久美浜町

名 称	種 別	指定年月日	所在地	町 名
大田南二号墳出土品	府 指考	平成8年3月15日	一部丹後郷土資料館	弥栄町
銅経筒	府 指考	昭和63年4月15日	円頓寺	久美浜町
奈具岡北1号墳出土品	府 指考	平成13年3月23日	弥栄町	弥栄町
カジヤ古墳出土品	府 登考	昭和62年4月15日	丹後郷土資料館寄託	峰山町
玄圃霊三関係資料	府 指歴	平成11年3月19日	宗雲寺	久美浜町
大宮賣神社境内	府 指史	昭和61年4月15日	大宮賣神社	大宮町
高山12号墳	府 指史	平成15年3月14日		丹後町
湧田山古墳群	府 指史	昭和63年4月15日		峰山町
黒部銚子山古墳	府 指史	昭和58年4月15日		弥栄町
遠處遺跡製鉄工房跡	府 指史	平成13年3月23日		弥栄町
湯舟坂2号墳	府 指史	昭和58年4月15日		久美浜町
宗雲寺庭園	府 指名	昭和59年4月14日	宗雲寺	久美浜町
アベサンショウウオ基準産地	府 指天	平成5年4月9日		大宮町
野中の田楽	府 指民	昭和58年4月15日	野中文化財保存会	弥栄町
黒部の踊子	府 指民	昭和59年4月14日	黒部踊子保存会	弥栄町
舟木の踊子	府 指民	昭和59年4月14日	舟木文化財保存会	弥栄町
丹波の芝むくり	府 登民	昭和60年5月15日	芝むくり保存会	峰山町
五箇の三番叟	府 登民	昭和61年4月15日	五箇芸能保存会	峰山町
周木の三番叟、笹ばやし、神楽	府 登民	昭和61年4月15日	周木民芸保存会	大宮町
竹野のテンキテンキ	府 登民	平成4年4月14日	竹野区	丹後町
遠下のちいらい踊	府 登民	平成6年2月18日	遠下区	丹後町
大山の刀踊	府 登民	平成7年3月14日	大山区	丹後町
市野々の菖蒲田植	府 登民	昭和58年4月15日	市野々菖蒲田植保存会	久美浜町
甲坂の三番叟	府 登民	昭和61年4月15日	甲坂三番叟保存会	久美浜町
栃谷の三番叟	府 登民	昭和61年4月15日	栃谷三番叟保存会	久美浜町
布袋野の三番叟	府 登民	平成12年3月17日	布袋野区	久美浜町
河梨の十二灯	府 登民	平成元年4月14日	河梨区	久美浜町
アベサンショウウオ	府 登天	昭和59年4月14日		丹後地方全域
竹野神社文化財環境保全地区	府 顕慶陸	昭和60年5月15日	竹野神社	丹後町
神谷神社文化財環境保全地区	府 顕慶陸	昭和60年5月15日	神谷神社	久美浜町

<市指定文化財>

名 称	種 別	指定年月日	所在地	町 名
大宮賣神社旧本殿	市 建造	昭和60年7月1日	大宮賣神社	大宮町
元尾坂寺宝篋印塔	市 建造	昭和51年3月1日	蓮華寺	網野町
勅使門	市 建造	昭和58年4月1日	本願寺	久美浜町
売布神社本殿	市 建造	平成3年7月15日	売布神社	久美浜町
八幡神社本殿	市 建造	平成3年7月15日	八幡神社	久美浜町
三嶋田神社本殿	市 建造	平成3年7月15日	三嶋田神社	久美浜町
円頓寺本堂仁王門	市 建造	平成3年7月15日	円頓寺	久美浜町
宝篋印塔	市 建造	平成3年7月15日	宗雲寺	久美浜町
法華経大石塔	市 建造	平成3年7月15日		久美浜町
絹本著色釈迦十六善神像	市 絵画	昭和60年3月28日	常立寺	峰山町
絹本著色不動明王像	市 絵画	昭和60年3月28日	常立寺	峰山町
紙本著色京極家歴代藩主肖像画	市 絵画	昭和60年3月28日	常立寺	峰山町
方丈障壁画	市 絵画	昭和60年3月28日	慶徳院	峰山町

名 称	種 別	指定年月日	所在地	町 名
絹本著色十王図	市 絵画	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
絹本著色俱生神像	市 絵画	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
絹本著色如意輪観音像	市 絵画	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
絹本著色釈迦十六善神像	市 絵画	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
絹本著色地藏菩薩像	市 絵画	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
絹本著色五大尊像	市 絵画	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
絹本著色毘沙門天像	市 絵画	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
絹本著色楊柳観音像	市 絵画	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
大江山鬼退治絵巻	市 絵画	平成2年3月15日	岩屋寺	大宮町
紙本著色斎宮大明神縁起	市 絵画	昭和61年5月19日	竹野神社	丹後町
紙本著色等樂寺縁起	市 絵画	昭和61年5月19日	竹野神社	丹後町
木造阿弥陀如来坐像	市 彫刻	昭和60年3月28日	全徳寺	峰山町
木造阿弥陀如来立像	市 彫刻	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
木造観音菩薩坐像	市 彫刻	昭和60年7月1日	岩屋寺	大宮町
仲禅寺仁王尊	市 彫刻	昭和54年1月23日	仲禅寺区	網野町
十一面観音菩薩立像	市 彫刻	昭和61年5月19日	上山寺	丹後町
木造観音菩薩立像	市 彫刻	昭和61年5月19日	徳運寺	丹後町
木造阿弥陀如来坐像	市 彫刻	昭和58年4月1日	如意寺	久美浜町
木造阿弥陀如来坐像	市 彫刻	昭和58年4月1日	遍照寺	久美浜町
大宮神社神像	市 彫刻	平成18年3月20日	大宮神社	弥栄町
手錫杖	市 工芸	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
鑄銅五具足	市 工芸	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
茶壺	市 工芸	昭和60年7月1日	万休院	大宮町
高森神社狛犬	市 工芸	昭和60年7月1日	高森神社	大宮町
鰐口	市 工芸	昭和51年3月1日	加茂神社	網野町
石造宝篋印塔	市 工芸	昭和61年5月19日	上山寺	丹後町
石造五輪塔	市 工芸	昭和61年5月19日	上山寺	丹後町
石燈籠	市 工芸	昭和49年7月12日	溝谷神社	弥栄町
宝篋印塔	市 工芸	昭和49年7月17日	野中区	弥栄町
線刻薬師如来御正体	市 工芸	平成9年3月19日	木橋区	弥栄町
石燈籠	市 工芸	昭和58年4月1日	八幡神社	久美浜町
紙本墨書日興筆本尊曼荼羅	市 書跡	平成2年9月17日	常德寺	大宮町
紙本墨書日親筆本尊曼荼羅	市 書跡	平成2年9月17日	常德寺	大宮町
丹哥府志の原本	市 書跡	昭和51年3月1日	網野町	網野町
縁城寺縁起	市 古文	昭和60年3月28日	縁城寺	峰山町
寛平法皇塚出土の石枕	市 考古	昭和51年3月1日	本覚寺	網野町
神明山経塚出土 銅鏡	市 考古	昭和61年5月19日	竹野神社	丹後町
神明山経塚出土 経筒	市 考古	昭和61年5月19日	竹野神社	丹後町
鰐口	市 考古	昭和49年7月4日	木橋区	弥栄町
十三仏石塔（逆修塔）	市 考古	昭和49年7月4日	福昌寺	弥栄町
オテジ谷古墳出土品	市 考古	平成9年3月19日	溝谷神社	弥栄町
平遺跡出土遺物	市 考古	平成18年3月20日	京丹後市	丹後町

名 称	種 別	指定年月日	所在地	町 名
大谷古墳出土石棺及び出土遺物	市 考古	平成18年3月20日	京丹後市	大宮町
京極家墓所	市 史跡	昭和60年3月28日	常立寺	峰山町
立石大逆修塔	市 史跡	昭和60年7月1日		大宮町
新戸古墳	市 史跡	昭和61年7月21日		大宮町
駒返しの滝地蔵	市 史跡	昭和61年7月21日		大宮町
浜詰遺跡	市 史跡	昭和51年3月1日		網野町
下岡城趾	市 史跡	昭和51年3月1日		網野町
復元岡第1号墳	市 史跡	昭和51年3月1日		網野町
離湖古墳	市 史跡	平成14年12月11日		網野町
離山古墳	市 史跡	平成14年12月11日		網野町
片山古墳	市 史跡	昭和61年6月18日		丹後町
大成古墳群	市 史跡	昭和61年6月18日		丹後町
上山寺歴史環境保全地区	市 史跡	昭和61年6月18日	上山寺	丹後町
細川ガラシャ夫人隠棲地	市 史跡	平成11年3月10日		弥栄町
岩ヶ鼻古墳	市 史跡	昭和58年4月1日		久美浜町
肥後の墓	市 史跡	平成3年7月15日	宗雲寺	久美浜町
扇谷遺跡	市 遺跡	平成4年7月20日		峰山町
松井与八郎の墓	市 史跡	平成3年7月15日	宝泉寺	久美浜町
五色浜	市 名勝	昭和51年3月1日	五色浜	網野町
琴引浜	市 名勝	昭和51年3月1日	琴引浜	網野町
鳴き砂	市 天然	昭和52年12月11日		網野町
平海岸海浜植物群自生地	市 天然	昭和61年6月18日	平海岸	丹後町
若宮神社のスタジイ	市 天然	平成13年3月27日	若宮神社	大宮町
内山の大ブナ	市 天然	平成13年3月27日	五十河区	大宮町
アベサンショウウオ	市 天然	平成13年3月27日		市内全域
宇川流域天然鮎生息地	市 天然	昭和61年6月18日	宇川	丹後町
奉納和船	市 民俗	平成9年3月19日	溝谷神社	弥栄町
丹波の芝むくり	市 民俗	昭和61年3月29日	芝むくり保存会	峰山町
五箇の三番叟	市 民俗	昭和61年3月29日	五箇芸能保存会	峰山町
周木の三番叟、笹ばやし、神楽	市 民俗	昭和61年7月21日	周木民芸保存会	大宮町
三島田神社環境保全地区	市 顕跡	平成3年7月15日	三島田神社	久美浜町
甲坂不動尊環境保全地区	市 顕跡	平成3年7月15日	甲坂不動尊	久美浜町

京丹後市所在の指定・登録文化財件数一覧

指 定 区 分	国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合計
建造物	2	5	4	8	11	30
絵画			3		15	18
彫刻	2		2		10	14
工芸品	1		4		11	16
書跡					3	3
古文書			1	1	1	3
歴史資料			1			1
考古資料	3		4	1	9	17
無形民俗文化財			3	8	3	14
有形民俗文化財					1	1
史跡	4		6		16	26
遺跡					1	1
名勝			1		2	3
天然記念物	1		1		6	8
文化財環境保全地区			3		2	5
合計	13	5	33	18	91	160

文化財分布図

凡例

記号	内容
●	国指定等文化財
●	府指定等文化財
●	市指定等文化財
●	無指定文化財

日本海

